

C-04 精神科選択プログラム

概要

(1) 精神科選択プログラムは、選択科目として精神科を選択するプログラムである。

(2) 鳥取医療センターおよび精神科について：

鳥取医療センターは独立行政法人国立病院機構傘下の西鳥取病院と鳥取病院が国の方針に基づいて、平成 17 年 7 月 1 日に統合してできた新病院である。政策医療を担うことを第一使命とし、さらに地域に根ざした医療並びに、患者さんの目線に立った医療の提供を目指している。当センターが担う政策医療分野は精神疾患、神経筋疾患、重症心身障害、結核を主とする呼吸器疾患である。

精神科領域では精神科救急、精神身体合併症医療、依存性障害医療などを中心として、これまで以上に地域におけるこころのケアや医療の充実を図るとともに、中国ブロックの基幹医療施設として高度な専門医療、臨床研究、教育研修、情報発信を行う所存である。精神科外来では多くの患者さんのご要望に応じてデイケアセンターをさらに充実させる。

(3) 選択期間中には指導医と相談の上、研修医一人ひとりが自分のキャリア育成に合致した SBOs を設定することができる。一方で、選択科研修中においても、中央病院プログラムが 2 年間で必要と定めた中央病院一般目標 GIO ならびに行動目標 SBOs (EPOC) の達成度を上げる必要がある。

指導責任者：坂本 泉

目標

一般目標(精神科選択研修 GIO)

精神症状を有する患者に正しく対応し、必要な場合に精神科依頼が行えるようになるために、精神科での選択研修を通じて、プライマリケアの臨床に必要な基本的診療能力(態度、技能、知識)を修得する。

行動目標(精神科選択研修 SBOs)

個人が決める SBOs

診療科が薦める SBOs

EPOC で定める目標

EPOC で定める目標

1. 精神科で必ず修得しなければならない EPOC 項目(マトリックス表で)

A-2-9 精神面の診察

B - 1 経験すべき症状、病態、疾患

B-1-2 不眠

B-1-35 不安・抑うつ

B-2-17 精神科領域の急患

B - 2 経験が求められる症状・病態

B-3-2 神経系

(2) 痴呆性疾患

- B-3-13 精神・神経系 (4) 気分障害うつ病
 (1) 症状精神病 (5) 統合失調症
 (2) 痴呆 (6) 不安障害
 (3) アルコール依存症 (7) 身体表現性障害、ストレス関連障害

C 特定の医療現場の経験

C-2 予防医療(予防医療の現場を経験する)

- (1) カウンセリングとストレスマネジメントができる

C-5 精神保健・医療(精神保健福祉センター、精神病院等の精神保健・医療の現場を経験すること)

- (1) 症状の捉え方
 (2) 初期対応と実際に学ぶ
 (3) 社会復帰や地域支援体制を理解する

2. 精神科で修得するのが望ましいEPOC項目(マトリクス表で)

- | | |
|-----------------|----------------|
| A-1 医療面接 | A-6-5 紹介状、返信 |
| A-2-1 全身観察 | A-7-1 診療計画作成 |
| A-6-1 診療録作成 | A-7-2 診療ガイドライン |
| A-6-2 処方箋、指示箋 | A-7-3 入退院適応判断 |
| A-6-3 診断書、死亡診断書 | A-7-4 QOL 考慮 |

B - 1 経験すべき症状、病態、疾患

- B-1-1 全身倦怠感

B - 2 経験が求められる症状・病態

- B-3-18 加齢と老齢
 (2) 老年症候群

C 特定の医療現場の経験

C-1 救急医療(救急医療の現場を経験すること)

- (6) 専門医へのコンサルテーションができる

3. 全ての科で目標とする項目(マトリクス表では)

I. 医療人として必要な基本姿勢・態度

- (1) 患者-意思関係、(2) チーム医療、(3) 問題対応能力、
 (4) 安全管理、(5) 症例呈示、(6) 医療の社会性

方略(LS)

場所は鳥取医療センター(外来、病棟)

研修期間は1ヶ月

同時研修は各学年2名までを原則とする

指導医は事前に決定し、プログラム責任者を通じて知らせる

オリエンテーション(初日)

OJT(On the Job Training)が主体

クルズス(講義)は週間予定表を参照。

週間予定

	午前	午後
月	外来診療	集団精神療法、病棟診療
火	外来診療	病棟診療、精神科リハビリテーション 【夜間】終夜ポリグラフ
水	外来診療 アウトリーチ型医療	心理教育、病棟診察、脳波判読会 断酒会見学診療
木	外来診療、睡眠医療	検査、病棟診察
金	外来診療、	病棟診療、MRI判読会

評価(EV)

形成的評価(フィードバック)

知識(想起、解釈、問題解決)については随時おこなう

態度・習慣、技能についても随時行う。

総括的評価 研修終了する時に、EPOC の評価入力を行う。

Mini-Peer Assessment Tool (Mini-PAT)で評価し、本人とプログラム責任者に報告する。